

黄金色のひまわり油ができました！(報告その3)



田子の有休農地を活用して栽培したひまわりを、9月に脱穀して60キロの種がとれました。それを、中条にある農産加工所に持ち込み、ひまわり油にしてもらいました。

その加工所を11月10日(木)に Noshinプロジェクトのメンバーが見学をしました。種を焙煎後に抽出してろ過すると、見事な「黄金色」のひまわり油ができていくのです。皆、小雨対策の水やりなどで苦労してきたことがいっぺんに吹き飛ぶ思いで、一滴一滴と出来上がる最終行程を見つめています。

できたひまわりの食用油は140gほど入る瓶に詰め、1本1,000円で12月3日(土)の本年最終の朝市で63本限定で販売しました。

(Noshinプロジェクト)

「高齢者等住まい修繕お助け事業」好評にて終了



朝の一画面で行われた包丁研ぎ

長野建設産業労働組合若槻支部様のご厚意のもと、12件の修繕を実施しました。依頼された方々からとても喜ばれ、感謝の声が届いております。本当にありがとうございました。

また、昨年に引き続き土曜朝市での包丁研ぎにもご協力いただき、今年も多くの希望者があり27丁をお願いし、大人気の中無事に終了となりました。

(福祉部会)



第2回のりんご祭りを昭和の森公園で実施！



若槻の“美味しいりんご”をアピールするイベントとして昨年から開催を始めた「りんご祭り」が、清泉女学院大学・短期大学の学生さんの協力を得て、10月30日(日)に昭和の森公園 芝生広場(体育館(フィットネスセンター)東側の広場)で開催されました。当日はアルクマが来ることもあり小さな子どもも多く、500名を超える参加がありました。

秋の晴天のもと、りんご販売コーナーが設けられ、市販より安くしたりんごの販売や贈答用の予約も受け付きました。また、焼きりんご、わたあめ、ポップコーン、おでん、おこわ、焼そばなどの屋台も出ました。

正面の石畳のステージを中心、若槻小学校と三登山太鼓による太鼓演奏、清泉学生の歌などの発表、障害者プロレス・スカイロードによるショー、アルクマと清泉学生によるダンスなどが繰り広げられました。催しの間にはクイズ大会があり、多くの子ども達が参加して、司会のお姉さん

さんの正解発表に一喜一憂する姿がありました。

広場の芝生に設けられたゲーム、イベントコーナーでは、昨年も行われた仮装して写メ、お化けカボチャを作ろう、りんご品種あての3コーナーに、今年はボーリング、バルーンアートの新コーナーも設けられ、ここにも参加する親子づれの姿がありました。

来年もとの声もあり、開催するかも含め早めに決定をして皆さまにお知らせしていきたいと考えております。また当日、裏方で準備、販売、コーナー運営などに携わっていただいた関係者の皆様に感謝を申し上げます。

(Noshinプロジェクト)

